

市民エキストラ通信

創刊号

VOL. 1

発行：和歌山市産業部観光課 発行日：平成16年3月1日

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

TEL：073-435-1234 FAX：073-435-1263

E-mail em02030@city.wakayama.wakayama.jp

http://www.hall.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm

和歌山県ライフル射撃場での地獄甲子園ロケ風景



平成十四年四月に登録してくださった皆様をはじめ、和歌山市の市民エキストラには、現在三十一名の方が登録されています。すでにロケに参加されたことのある方、まだ一度も参加されていない方、銀幕デビューを果たされた方、いろいろな方がいらっしゃいます。ま

市民エキストラ通信創刊!

まだまだ和歌山市で行われた大きなロケの回数も多くありませんが、今後ますます映像制作者サイドにも働きかけ、われらが和歌山市をどんどん売り出していこうと考えています。

そんな中、市民エキストラの皆様にも是非地域における映像制作に関わる情報を共有していただき、さらに映画・ドラマ・CMを含む映像制作に興味を持っていただけるよう、このたび

映画『地獄甲子園』 2/26 DVD 発売!

平成14年5月に全シーンを和歌山市とその周辺で撮影が行われた映画『地獄甲子園』。ロケに参加された方も多いと思いますが、平成15年7月19日から東京・渋谷と和歌山を皮切りに順次全国で公開され、それに先駆けてロケ地和歌山市では山口雄大監督と主演の坂口拓さんをお迎えして試写会が行われました。

(詳しくは2面以降)
渋谷シネクイントでの初公開ではレイトショー動員・興行収入新記録を樹立し、韓国での公開も決定するほどの大ヒットとなりました。

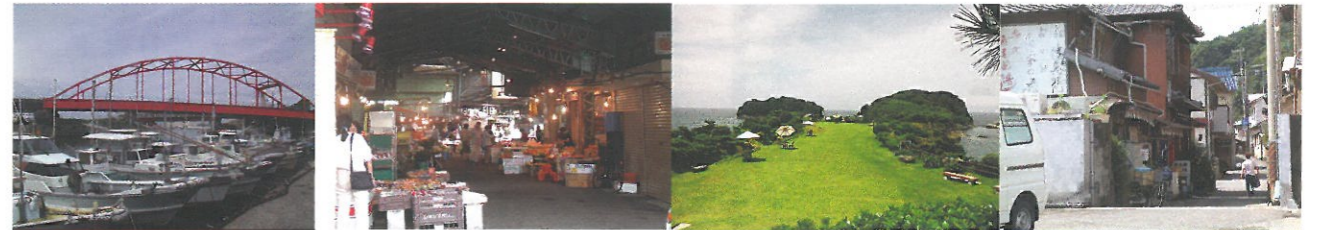
それに引き続き、2月26日に待望のDVDが発売されました。

どこかで見た景色が見られるかも?!



詳しくは <http://www.klockworx.com/jigoku/>

「市民エキストラ通信」を発行する運びとなりました。今後二回、和歌山市でのロケ撮影報告をはじめロケ撮影にまつわる様々な話題をお届けしていきます。



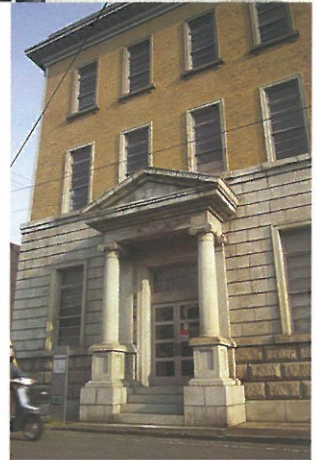
ロケにいい場所知りませんか?

いわゆる観光名所と言われるような場所でもなく、当たり前の風景なんだけど、なんだかすごくお気に入りの場所。そんな場所を知りませんか? ロケには、意外とそんな場所がいいみたいです。

あなたのおすすめスポットを写真にしてお送りください。

和歌山市のフィルムコミッション事業のHP (3面参照)へ投稿!
⇒「写真 作品の募集」というところをクリック!
和歌山市観光課へ直接郵送!
⇒〒640-8511
和歌山市七番丁23 和歌山市役所内
産業部 観光課 「FC担当」まで

※なお、応募頂いた写真は返却しません。また、和歌山市は、応募頂いた作品について、市の広告・宣伝等を目的とした媒体に掲載するなど、自由に使用させていただけるものとします。



左下から時計回りに:

- 紀の川
- 水軒渡船場付近
- 七曲市場
- 番所庭園
- 加太の町並み
- 西本ビル
- 和歌山城

シネマ 映画な人



山本 哲也
(やまもと てつや)

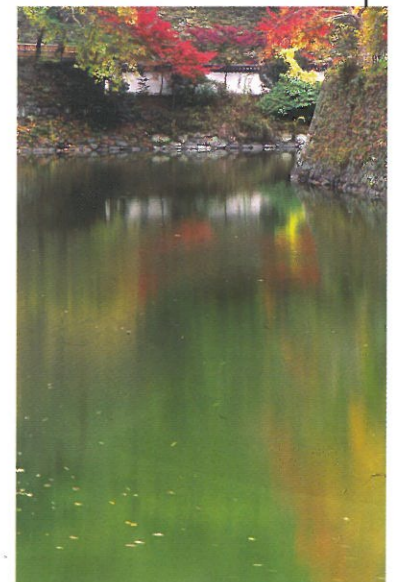
和歌山市の映画シーンには欠かせない人。猫と活字が大好きで、本屋にいることと歩くことが趣味。

和歌山のタウン誌にもコラムを執筆中。現在、シネマプラザ映映・支配人。

ららら、えきすとら。

学生時代は、日活や大映の調布撮影所の近くに住んでいたのでアルバイトとして。映画館で働くようになってからは、ロケのお手伝いを兼ねて。と、テレビや映画のエキストラ体験は数知れない。時代劇で腕時計をして怒られたり(そらそうや)、『そんな長髪の刑事はいない』と怒鳴られたり(そんなん知らんがな)、朝から晩まで待って結局は出番なしだとか、とんでもない経験がいっぱい。普通に見たら理不尽な事々も、映画の現場ではそれが当たり前。なにしろ、様々な人間が知恵と経験を持ち寄って監督の号令で『世界』を創るのがこの仕事。熟練のスタッフや大スターだけでなく、今日だけのエキストラだって、役割をキチンとこなす事においては、みんなオンリーワンのプロフェッショナル。

これって、なんだか『街づくり』に似ているな。市長さんや行政に関わる人々だけが、掛け声をかけても『世界』は創れない。市民一人一人が輝いて、初めて街はイキイキと色づいてゆく。ららら、えきすとら。映画づくりに参加して、和歌山をもっともっと素敵な街にしたいよね。



フィルムコミッションって知ってる?!



<http://www.hall.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm>

「フィルムコミッション (FC)」という言葉を知っている方が多いと思います。日本ではまだあまり知られていない言葉かもしれませんが、映画やテレビドラマ、CMなどのロケを誘致したり、ロケを行う際の撮影に関する窓口となつて必要なサポートを行うサービスを行います。

例えば、ロケを行う際の許可手続のお手伝い、学校や病院での撮影希望がある場合の先方との交渉、地元でのエキストラ出演に関する調整など小さなことから大きなことまで、サービスの内容は様々です。

「地獄甲子園」のロケもその一環として行われました。アメリカなどでは、すでに二十年以上前からこの制度が浸透して、かなり充実したサービスが行われており、「国際フィルムコミッション協会」が認可する「フィルムコミッションナー」という国際的な資格制度もあります。

日本には、このようなサービスを専門に行う組織が約六十ヶ所あり、サービスの充実にも努めています。



平成15年6月22日に撮影が行われた日本テレビ「モグモグGOMBOL」

和歌山城二の丸

映像制作者向けロケーション情報専門誌に「和歌山市」が掲載されました。

和歌山市の風景が映像の中にもっと登場しますように...



協力「ロケーションジャパン」

和歌山市でも もっとロケを...!

磯ノ浦海水浴場

平成15年5月2日に撮影が行われた読売テレビ「莓リリック」



友ヶ島

平成15年8月下旬に撮影が行われたDVDシヨートム「なでしこ第壹話FOAF」



市和商でのワンシーン



和歌山市役所での記者会見



●試写会を開催

昨年七月九日、映画「地獄甲子園」の山口雄大監督と主演の坂口拓さんをお迎えして、試写会の開催となりました。

「懐かしいね」と移動中の車中でもお互いに撮影で奔走していたころを思い出しながら、久しぶりに和歌山市を訪れた監督と坂口さん、忙しいスケジュールの合間をぬって記者会見と舞台挨拶のために和歌山市にお越し下さいました。

当日試写会に参加くださった市民エキストラの皆さんは約六十名。舞台挨拶の最後には、客席に向けて監督と坂口さんからサインボールが投げ入れられるという思わぬサービスで大盛況でした。

試写会のあとは、和歌山ラーメンと焼肉に舌鼓を打って、ご満悦のうちに翌日、和歌山市をあとにされました。

山口雄大監督から 市民エキストラのみなさんへ



「地獄甲子園」に参加して下さった和歌山市民エキストラの皆様、ごぶさたしております。「地獄甲子園」は、ゆうばり映画祭での(まさかの!)グランプリ受賞後、韓国でのプチョン映画祭での上映(凄いウケてました)、そして記録を塗り替えるほどの成績を残した東京公開と、昨年の話題を(微妙に)盛り上げました。これも和歌山市、市民の皆様のご協力があったことだと思っております。そして、今年もまだまだ進撃は進みます。2月のビデオ、DVD(特典映像満載です!)発売に続き、韓国での公開も決定しました。向こうでは、日本よりも規模の大きい公開となりますので、ヒットすれば韓国も巻き込んでの「パート2」製作も(水面下で)考えています。その時は是非、また和歌山市、市民の方々のご協力をお願いするかもです。また、あの気持ちのいい「死にっがり」を見せてくれることを期待してます!ありがとうございました。

和歌山市ロケの概要

- ◇撮影期間 平成14年4月10日から5月2日まで
- ◇主な撮影場所
 - 住友金属グラウンド
 - 和歌山市民球場
 - 市和商
 - 和歌山市立青年の家
 - 和歌山県ライフル射撃場 ほか
- ◇参加した市民エキストラ及び職員ボランティアの人数 延べ約300名



和歌山市民球場での撮影風景